

学校通信

7

2019 JUL
第195号

学校生活における大切なお知らせです

INDEX 目次

メッセージ.....	②
スケジュール & インフォメーション.....	③
教務部からのお知らせ.....	④・⑤
生徒支援からのお知らせ.....	⑥
進路支援からのお知らせ.....	⑦~⑨
特別活動.....	⑩
事務室からのお知らせ.....	⑪
今月の聖句.....	⑫

ENCLOSURE 同封物

<全年次>

- ☆大阪青年7・8月号
- ☆安全の日のメッセージとグッズ
- ☆校外での芸術活動等の案内

<3年次>

- ☆進研模試の案内

●前期筆記式テスト:

8月5日(月)・6日(火)・7日(水)・8日(木)

●課題式テスト:8月19日(月)17:00 締切

(当日の消印有効)



学院高校 LINE
QRコード

学校通信はバックナンバーを含め、ホームページで閲覧できます。

<http://www.ymcagakuin.ac.jp>

Facebookも更新中です!「YMCA 学院高等学校」で検索してください!!

メッセージ～7月の言葉～

現在、生徒の皆さんが自分のスマートフォンなどで、スクーリング出席回数やレポート提出状況を確認できるシステムの導入を準備しています。年8回送付しています学習状況表を始め、学校からの郵便物が多く、ご家庭でもお困りだとの声を伺っていることも導入をする理由の1つです。しかし1番大きな理由は、生徒の皆さんが自分のことを自分で管理や決定をする力を身につけてほしいということです。

2002年本校開設時、初代校長が生徒に伝えたメッセージは次のようなものでした。『あなたが休んでも学校から電話はしていません。「冷たい学校」と思うのではなく、学校から解放されたと思ってください。学校にいつ行くかは自分で決めることができるのです。』

今は時代が変わり、サポートを求める生徒が多い中、生徒への関わり方や伝え方も変わりました。しかし私は生徒の自主性を伸ばすこの考え方は教育の本質を捉えたものとして素晴らしいと思っています。

私が結婚した時、一番感じたのは「自由になった」と感じました。親の束縛からすべて解放されたと感じたのです。何時に帰るかは自由、家が散らかっていても片付いていてもそれは自

分の責任、そういった自由と責任のバランスがとても心地よかったです。

生徒の皆さんがスクーリング出席数やレポートに追われるのではなく、自分の意志で学校生活を送れるよう、それらを自分で管理することができることを願っています。できるなら出席数にこだわらずに、可能な限り多くの授業に出て、新しい考え方や知識、さらには自分が知らなかったことへの興味関心がムクムク湧くその瞬間に出会ってほしいのです。自分から学ぶことの楽しさ、気づくことの喜び、つながることの豊かさ、そんな主体的な高校生活になることを心から願います。

聖句 新約聖書

コロサイ人への手紙3章9～10節

「……あなたがたは、古い人をその行いといっしょに脱ぎ捨てて、新しい人を着たのです。新しい人は、造り主のかたちに似せられてますます新しくされ、真の知識に至るのです。」

(校長 鍛治田千文)

スケジュール&インフォメーション

7/21～8/31

日	月	火	水	木	金	土
7/21	22	23	24	25 ・最終学習状況報告/ テスト受験資格表など 発送	26	27
28	29	30	31	8/1	2	3
4	5 ・筆記式テスト	6 ・筆記式テスト	7 ・筆記式テスト	8 ・筆記式テスト ・4つのコース説明会 11:30～12:20 ・進学ガイダンス 14:00～15:00	9 ・追テスト ・メディアルーム開放 13:00～17:00	10 ・閉館日
11 山の日 ・閉館日	12 振替休日	13	14	15	16	17
18 閉館	19 ・課題式テスト 提出締切日 ・メディアルーム開放 13:00～17:00 ・香港・台湾・大阪 グローバル・シティズン シップ・ツアー	20	21 ・第2回 高等学校卒業程度認定 試験ガイダンス 13:00～13:50	22	23	24
25	26	27	28 ・わいわいカフェ	29	30 ・再テスト日 ・再テスト課題締切日	31

4つのコース説明会

【後期】グローバル、健康スポーツ、進学、マイスペ+ コース受講者 募集！

各コースはそれぞれ特色があり、どのコースも「豊かな人の成長」を願って運営をしています。机上では学べない、人と人との関わりを通して価値観が変わるようなプログラムもあります。

みなさんの中にも、きっと「通学日数を増やし、生活のリズムや学習習慣を身につけたい」「同じ志を持った友達がほしい」「自分の興味関心を広げたい、深めたい」「これからの進路に向けて準備したい」「今の自分を変えたい」と思っている人がいるはずです。そのような人は、是非、登録を検討してみてください。チャレンジしてみたいけど、イメージがつかないし少し不安！という人は、説明会・相談会に参加または担任に相談してください。

日 時：8月8日(木) 11:30～12:20

※教室は当日の掲示を確認してください。

備 考：各コースには、定員があります。

状況によっては受け入れが難しい可能性があります。

教務部からのお知らせ

「前期最終学習状況報告」等の発送

□発送日：7月25日(木) 予定

同封物：・「単位認定テスト受験資格確認表」(個人別)

- ・ 単位認定テストの実施方法および、「筆記式テスト」出題範囲等一覧
- ・ 筆記式テスト日程・時間割
- ・ レポート解答・記述例集
- ・ 特別活動参加時間数(個人別)

各講座のテスト受験資格の有無、テスト実施方法・出題範囲を確認し、レポート解答例で復習し、しっかり単位認定テストに備えましょう。

単位認定テスト「筆記式テスト」

□日程：8月5日(月)、6日(火)、7日(水)、8日(木)

□「筆記式テスト」は、スクーリングとは異なる曜日・時限で実施します。

■「筆記式テスト」は、個人別の「単位認定テスト受験資格確認票」に記載されている、日付・時限・教室で受験してください。(7/25(木)に発送予定)

(座席は指定です。座席表は当日教室に掲示します)

■持ち物：「生徒証」「筆記用具」「単位認定テスト受験資格確認表」

※その他テスト受験に必要なものは、講座別に指定されています。「筆記式テスト出題範囲等一覧」(別紙)で確認してください。

※「生徒証」がない人は、至急職員室で再発行の手続きをしてください。

- 「単位認定テスト受験資格確認表」に記載の日時に受験できない場合
- 遅刻や欠席などで受験できなかった場合

□指定の日時に「筆記式テスト」を受けることができない場合や、遅刻や欠席などで受験できなかった場合は、申込みをして「追テスト」を受験してください。

□職員室にて理由とともに申し込みをして「追テスト」を受験してください。

追テストは、学校が指定する日時でのみ受験できます。

□追テスト日：8月9日(金) ※追テストの時間は学校が指定します。

暴風警報発令による休校の場合

□暴風警報発令などにより休校になる場合の決まりは、『2019年度版 学務の手引き』P.36に掲載しています。

□今回のテスト期間中に休校となった場合、その日のテストを8月9日(金)に、同じ時限で実施します。

その場合、同日予定の追テストは、8月19日(月)に変更になります。

「筆記式テスト」が不合格になった場合

- 「筆記式テスト」が不合格となった講座は、8月30日(金)に実施を予定している「再テスト」を受験(講座によっては代わりに再テスト課題提出)してください。
- 「再テスト受験」または「再テスト課題提出」については、再テスト・再テスト課題料が1講座につき1,000円必要です。
- 詳細は、「筆記式テスト」結果の送付の際(8/23(金)発送予定)に該当者にお知らせします。
- 納入された再テスト・再テスト課題料は、理由に関わらず返金できません。あらかじめご了承ください。

単位認定テスト「課題式テスト」

- 「課題式テスト」の提出期限：8月19日(月)17時
(郵送の場合は、8/19(月)消印有効)
- 「課題式テスト」実施講座で、受験資格がある人には7/26(金)に学校より発送します。
- 「課題式テスト」が7月31日(水)までに届かない場合は、学校に連絡してください。
- 「課題式テスト」には、追テスト、再テストはありません。
(締切日までに提出しなければ単位の修得はできません)

単位認定テスト「実技式テスト」

- 「実技式テスト」は、スクーリング期間中に終了しています。
※「英語会話」の実技式テストは、単位認定テスト期間中に行います。

第2回高等学校卒業程度認定試験ガイダンスのお知らせ

- 全年次を対象に第2回高等学校卒業程度認定試験ガイダンスを行いますので、参加希望者は職員室で申し込んでください。
実施日：8月21日(水)13:00～13:50

高認や学校外の学修による単位認定

- 前期の申請締切日 9月3日(火)
- 高等学校卒業程度認定試験(高認)の合格科目や技能審査など学校外の学修の成果に対する単位認定を希望する人は、所定の用紙に記入し、合格証明書などの写しを添えて、担任に提出してください。高認や学校外の学修は、審査会での審査により単位認定されますが、認められない場合もあります。
- 9月3日(火)までに申請されたものを、前期取扱い分とします。期日を過ぎたものは後期の取扱いになります。
- 2019年度後期卒業予定者は、認定単位数が後期の講座登録に関わるため、必ず今期中に申請してください。

生徒支援からのお知らせ

カウンセリングスペース

□8月は23日(金)、26日(月)に開室します。

※保護者の方も利用頂けます。

□時 間：14:00～16:50

□担 当：石倉篤

□カウンセラー： 月曜日 / 川野敬子

金曜日 / 道嶋公子

保護者交流会「ほごしゃY²(わいわい)プラザ」のご報告

6月22日(土)に開催された保護者交流会には、21組23名の皆さんが参加してくださいました。保護者で4～5名のグループに分かれ、メンバーチェンジしながら話し合う“ワールドカフェ”方式で自由に話(話題は最近の子どもとの会話・子どもの家での様子・子どもに対して思っていること)をしていただきました。

皆さんはそれぞれ日ごろ思っていること・悩んでいることなどを率直に話され、またお互いの話を聞く中で、自然に交流が生まれ、話に花が咲き、予定の2時間は「あっ」と言う間に過ぎていきました。

参加者の方々の感想は、「いろいろな方と話ができ、また思いを共有することもでき、安心しました。」というものでした。

ご参加くださいました保護者の皆さま、本当にありがとうございました。

進路支援からのお知らせ

いよいよ夏本番、進路の対策を本格的にしなければいけない時期です。とても大事なことで、まだ悩んでいる人も多いと思いますが、そろそろ具体的に決めないといけません。一人で考えることも大事ですが、他人と話していて気づくこともたくさんあります。できる限り早く担任もしくは進路担当に相談するようにしてください。

1階と5階『進路コーナー』を活用しよう

□進路に関する情報は1階と5階の『進路コーナー』に掲示しています。また『進路コーナー』に置いている情報誌や案内書などは自由に持ち帰ることができますので、活用してください。

進路面談・相談<3年次生対象>

- 進路について、ホームルーム担任が面談や相談に対応します。面談または相談の申込みは、担任まで連絡してください。
- 受験勉強のことで悩んでいた、アドバイスを希望したりする人は進路担当小林まで申し出てください。

進研模試の実施について<3年次生対象、別紙参照>

□下記の日程で進研マーク模試を実施します。正確な進路サポートに必要なものですし、推薦入試前最後の学力判定ができる機会ですので、3年生で大学受験が必要な生徒は必ず受験してください。

(全統模試等を外部受験している場合は任意の受験で結構です)

- 申込締切： 8月23日(金)
- 実施日： 9月17日(火)

夏期講習の実施について<全次生対象>

□学力向上のために夏期講習を実施します。例年少人数でじっくりと指導することができています。ぜひこの機会に受講してください。6月の学校通信に申込書を同封していますので確認してください。受講を希望する人で申込書が手元にない場合は、担任まで申し出てください。

日 程： 8月19日～8月30日までの月・水・金曜日
9月3日～9月12日までの火・木曜日 各日 15:00～16:50

実施教科： 英語

受講費： 5,000円(全10回)

申込締切： 8月9日(金) 17:00まで

進学について

『進路ガイダンス(進学ガイダンス)』のお知らせ

- 2019 年度卒業予定の皆さんを対象に、進学ガイダンスを行います。予約制となっていますので、希望者は職員室で申し込んでください。特に指定校推薦をはじめとする推薦入試、センター試験の受験を希望している人は必ず参加してください。
- 日 時 : 8月8日(木) 14:00~15:00
内 容 : 推薦入試・センター試験について
※特別活動1時間認定

AO入試について

- AO入試の出願がそろそろ始まります。応募する人は、各大学・短大・専門学校への事前のエントリーをへて出願することになります。AO入試を受験する人は事前に担任に申し出て、アドバイスを受けることをおすすめします。
- AO入試のエントリーは自由ですが、出願の際に専願を求めるところが多いので、注意が必要です。

指定校推薦入試について(『それぞれの未来へ』P.6参照)

- 指定校推薦とは、大学・短大・専門学校が特に高等学校を指定し、推薦枠を設けて優先的に実施する試験です。
合格した場合、絶対に入学を辞退することはできません。また、出願許可後に申込みを取り消した場合、公募推薦を含む以降の推薦入試の出願を認めません。
- 申込要件
 - ① 各大学・短大・専門学校が指定する学業成績等の基準を満たすこと。
 - ② 卒業年度前期終了時点で60単位以上修得していること。
(高認など学外での学修による単位認定見込みも含まれます)
 - ③ 『校内生活上の決まり』についての『注意』を2回以上受けていないこと。
 - ④ 合格した場合、入学を確約できること。
- 指定校推薦出願までの流れ
指定校推薦の申込み(1人1校) ⇒ 保護者同伴面談 ⇒ 校内選考 ⇒ 出願
- 申込締切
一次締切 : 9月27日(金) <<出願締切が10月11日(金)以前の場合はその2週間前>>
二次締切 : 一次締切で定員に達しなかった場合は出願締切2週間前の17時
上記締切日の時点で定員に満たない場合は、以降も申込みが可能です。
- 今年度の指定校推薦依頼校はまだ大学等からの通知が出そろっていませんので、『学校通信8月号』にてお知らせします。早めに情報が必要な方は進路担当まで直接尋ねてください。

<<New>>大学入試センター試験について (『それぞれの未来へ』P.5 参照)

- センター試験は、国公立大学の一次試験であるとともに、多くの私立大学が利用する試験です。試験日は来年の1月18日(土)、19日(日)です。積極的に受験してください。
- 『受験案内(志願票)』は9月上旬より学校で配布します。必要な生徒は職員室で手続きをして受け取ってください。
- 高校への『志願票』の提出締切は10月1日(火)です。現役生の場合、出願は高校で取りまとめて行うことになっています。個人では出願できません。

就職について

学校紹介で就職する場合

- 求人票の閲覧(えつらん)が7月1日(月)から始まっています。職員室で担任もしくは進路担当者まで申し出てください。なお、来校する時は必ず事前に連絡をとるようにしてください。特に、夏期休館期間は注意してください。
- 応募開始日は9月5日(木)です。同時に2社以上応募することはできません。
- 応募するための手順は以下の通りです。
 - ①調査書を申し込む(最低1週間前) → ②履歴書を本人が作成 → ③応募書類を学校から発送
- 選考は、大阪府では9月16日(月祝)にスタートします。ほとんどの企業で面接を重視しています。面接練習を希望する人は、担任もしくは進路担当者まで申し出てください。
- 内定すると辞退することができません。応募の際に慎重に考えてください。
- 最初の選考で内定が得られなくても、あきらめずに何度も応募する姿勢が大切です。

特別活動

□卒業要件として、30時間以上の特別活動への参加が必要です。

『学務の手引き 2019年度版』(P.14~15)の特別活動について、確認してください。

特別活動の参加時間数については、「学習状況報告」送付時に個人別にお知らせします。

職業適性検査

日 時：7月23日(火)13:00~14:00と14:15~15:40

内 容：13:00~14:00 一般職業適性検査(GATB)

14:15~15:40 職業レディネス・テスト(VRT)

特活認定：各1時間

申 込：さくら連絡網のフォームで申し込んでください。



面接マナー講座

日 時：7月25日(木)13:00~15:00

対 象：2,3年次生

特活認定：2時間

定 員：30名

申 込：さくら連絡網のフォームで申し込んでください。



事務室からのお知らせ

夏期学校休業日に伴う事務取扱いについて

- 休業日：8月10日(土)～18日(日) 事務取扱いはありません。
- 通学割引証や遠隔地への旅行などに必要な学割申請などについては、8月7日(水)17:00までに学校に申請があった場合は8月9日(金)に発行することができます。なお、即日発行はできません。

私立高等学校等授業料支援補助金の申請手続きについて

- 大阪府に在住の生徒さんに標記案内を送ります。(7月末日までに発送の予定)
制度説明や要件、記入等については、送付された大阪府のリーフレットをよく確認し、申請してください。

前期学費の納入について

- 就学支援金の申請が認定された生徒の学費については該当額を差し引いて、ご案内をしました。
納入期限日：7月30日(火)
確認のうえ納入手続きをしてください。

住所等変更手続きについて

- 現在学校に届けている住所や電話番号などが変更になった場合は、速やかに「各種変更届」に記入・押印のうえ事務室へ提出してください。あわせて下記もお願いします。
 - ① 郵便局への転居届
 - ② (住所変更の場合) 「生徒証」を提出
 - ③ (通学経路変更の場合) 「通学割引証申請カード」を提出※②・③は即日発行できません。
- 「各種変更届」は事務室や『学務の手引き 2019年度版』の巻末にもあります。コピーして使用してください。

生徒証の発行

- 単位認定テスト受験時には生徒証が必要です。紛失等で生徒証がない場合、下記のA・B・Cを留意して、職員室で申し込みをしてください。発行は受付から3日後です。
 - A . 証明書発行願 (学務の手引きにあります。コピーして使用してください。)
 - B . 写真 (縦 3.0cm×横 2.5cm)
 - C . 発行手数料 500円 (今年度再発行の場合のみ)



今月の聖句

「神の武具を身に着けなさい。」

(エフェソの信徒への手紙 6章 11節)

武具というのは、本来戦争などで戦う時に、相手の攻撃から自分の身を守るために身に着けるものです。ですから、武具という言葉を知ると、何か戦いをしなければならぬような気持ちにさせられるかもしれませんが、この言葉は私たちに戦いを強いるような言葉ではありません。むしろその反対なのです。

私たちは、日常生活の中でいろんなものと戦っていると言えます。自分を強くしなければ、弱みを見せないようにしなければ、この社会の中で生き残っていくことができない、という現実もあります。戦うことをやめるのは、すなわちこの社会で生きることをやめることであるかのように、思われることもあります。

でも、本当に戦わなければこの社会で生き残っていくことができないのでしょうか。そうではありません。神の武具と言われているものは、私たちが自分で用意しなければならないものではありません。神様が与えてくださるのです。いろんな場面で倒れてしまうことのないように、与えられた命を生き抜いていくことができるように、神様が準備してくださっている様々なアイテム、それが神の武具なのです。私たちはただ、その神様が守ってくださっていることを信じて、すべてを委ねて歩むことができればいいのです。

(福島義也牧師 日本基督教団河内長野みぎわ教会)



南YMCA「キリスト教委員会」2019-7

